

保育園自己評価(令和7年度)

川尻保育園

新保育所保育指針では「保育所は保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、園の保育内容等について評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない」ことが明記されています。

よって、川尻保育園では、これに基づき検討し保育園としての自己評価について、項目、視点および評価結果を下記の通り公表いたします。(小数点以下切り捨て)

評価するにあたっては、下記のような基準で行っています。

A:大変良い B:良い C:一部検討を要する項目 D:改善を要する

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標	保育理念、方針、目標は全職員で共通理解を図っている	28%	28%	42%	0	・年間の中で確認する機会が少なく、共通理解していく必要がある。 ・理念や方針は、なかなか全員での共通理解は難しかった。
	保育方針や目標に基づいて、クラスの年間目標を立てている	42%	57%	0	0	
保育	保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っている	42%	57%	0	0	・子どもの発達や気持ちを大切にし、一人ひとりに寄り添った保育を行うことができていた。 ・子ども一人ひとりの主体性を大切に保育をしようという意識がいろいろな場面で感じられた。 ・環境については、限られた中で、試行錯誤しながら、工夫していたことでコーナーでのあそびも充実していたと思う。 ・製作、行事等主体性を心がけた。欠席児がいる場合、すべての子どもの思いを聞くことができず、行事への取り組みなども進めていくことが難しかった。 ・個々への関わり方を共有していく ・デイリーについては見直しの段階である。保育者間で意見を出しながら、共通理解を図っていきたい。
	各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢、個々の発達に留意した指導計画を作成している	85%	14%	0	0	
	子どもの発達過程やその連続性を踏まえ、保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう、必要な事項に配慮し、保育を行っている	85%	14%	0	0	
	子どもの気持ちを理解し、信頼関係を築いている	71%	28%	0	0	
	子ども一人ひとりの主体性を大切に保育をしている	57%	42%	0	0	
	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しサインを見逃さずに対応している	57%	42%	0	0	
	子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができ見通しをもちながら進めている	71%	28%	0	0	
	子どもの発達、興味に合った保育内容であり、子どもが意欲的に遊んでいる	42%	57%	0	0	
	子ども一人ひとりの育ちの違いを把握し、その子にあった声かけの工夫をしている	71%	28%	0	0	
	職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで保育を行っている	71%	28%	0	0	
	素材、用具を適切に活用している	57%	42%	0	0	
評価結果を基に、保育の改善に努めている	71%	28%	0	0		
1日の流れ(デイリープログラム)は現行で良い	42%	28%	28%	0		
行事	計画・実施・評価・改善の体制をとっている	71%	28%	0	0	・行事の見直しなど、少しずつ取り組んでいくことが出来たと思う。 ・適切に進められた。 ・回数や種類については見直しが必要。
	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	85%	14%	0	0	
	保護者の願いや意見を取り入れている	85%	14%	0	0	
	行事の種類や実施回数は適切か	71%	14%	14%	0	
環境・整備	子どもたちが日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に努めている	85%	14%	0	0	・子どもの姿に合わせて、昨年よりもコーナー作りを充実させることができた。 ・安全で安心な環境作りに努めていた。 ・人任せにならないよう、気づいたら声をかけ合っていた。
	保育室の衛生・清掃・整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室作りを心掛けている	71%	28%	0	0	
	用具等を活動しやすいように、整理・保管している	71%	28%	0	0	
	子どもたちが主体的に活動できるよう環境設定している	57%	42%	0	0	
	施設内外・設備の安全を常に心がけ、気づいたら直ちに報告・整備する	42%	42%	14%	0	

項目	内 容	評 価				意見・改善策
		A	B	C	D	
園の組織・役割分担	保育についての話し合いをこまめにし、意見統一ができています	71%	28%	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 職員間の連携を大切にし、協力しながら保育を行うことが出来ていた。 各種研修等には参加してはいたが、積極的な部分では少々不足していたように感じる。日々の保育業務で忙しく、研修等は後回しになりがちだが、知識やスキル向上のためにも意識していきたい。 研修会の参加に関して、積極性に欠ける。もっと自主的に参加してほしい。 自主的に研修に参加することが少なかった。
	職員間の連携がとれている	100%	0	0	0	
	それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	100%	0	0	0	
	職員間で報告・連絡・相談の体制が機能している	85%	14%	0	0	
	各職員が任せられている仕事は責任をもってこなしている	85%	14%	0	0	
	各職員が職員会議等で必要と思う質問や意見を発言することができています	14%	85%	0	0	
	研修への参加は積極的にいき、専門職としての知識やスキルの向上に取り組んでいる	57%	0	42%	0	
研修で得た内容・成果は研修報告書を基に、職員全員に伝達し、共有している	57%	42%	0	0		
保護者・来客対応	保護者に対して、丁寧な言葉づかいと、気持ちの良い対応を心掛けている	71%	28%	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 対応が難しい部分もあったが、職員間で連携をとって進めることが出来たと思う。 丁寧で気持ちの良い対応を心がけた。 気になる子の保護者への伝え方を工夫しながら行うことが出来た。 言葉づかいや気持ちの良い対応は、引き続き注意した行きたい。 送迎時ではうまく伝わらない時は、連絡ノートを活用した。
	送迎時に子どもの様子・姿を保護者に伝えている	85%	14%	0	0	
	保護者の思いを理解するように努め、丁寧に連携をとっている	85%	14%	0	0	
	子どもの姿を言葉で伝えることを心がけ、良い部分だけでなく気になる事も相談し合い「一緒に子育て」を大切にしている	71%	28%	0	0	
	おたより等で必要なことを伝えている。また、保護者に子どもの日常生活がわかるよう情報を発信している	100%	0	0	0	
	保護者・来客に笑顔で挨拶し、気持ちの良い受け入れをしている	85%	14%	0	0	
給食	食育の計画を作成し、よりよい食習慣や心身の健康の基礎を培うよう努めている	71%	28%	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 食に関しても、連携を取りながら、様々な工夫をし、適切に提供できていた。 安心、安全な給食を提供できていた。 無理なく食べることが出来るよう心がけた。 アレルギーの子も同じものを食べられる献立作りをする。
	食に関して「家庭」「調理員」「栄養士」「保育士」と連携がとれている	57%	42%	0	0	
	食に関するアレルギーのある子どもに対して個々の対応ができています	85%	14%	0	0	
	誤飲による重大事故が起きないように配慮している	71%	28%	0	0	
情報管理	個人情報など掲載されている書類については厳重に管理し保管されている	100%	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の管理や守秘義務については徹底出来ていたと思う。
	園内で知り得た情報の守秘義務は徹底できている	100%	0	0	0	

*A評価の項目が全体の9割、B評価の項目が1割という結果になりました。

昨年度と比較するとA評価の割合が増えました。

*C評価の項目など、改善を要する項目や課題もあるので、更に検討を重ね、より良い保育ができるよう努めていきたいと思っております。